

一般国道246号

すそ の

裾野バイパス

(道路事業)

説明資料

平成26年7月4日

中部地方整備局
沼津河川国道事務所

目 次

1.	一般国道246号裾野バイパスの事業概要	
(1)	事業目的	P. 1
(2)	計画概要	P. 2
2.	評価の視点（概要）	
(1)	事業の必要性等に関する視点	
①	交通渋滞の緩和	P. 3
②	交通事故の削減	P. 3
③	災害に強い道路機能の確保	P. 4
④	地域経済活性化の支援	P. 4
3.	現在の状況及び今後の予定	P. 5
4.	県・政令市への意見聴取結果	P. 5
5.	対応方針（原案）	P. 5

1. 一般国道246号裾野バイパスの事業概要

(1) 事業目的

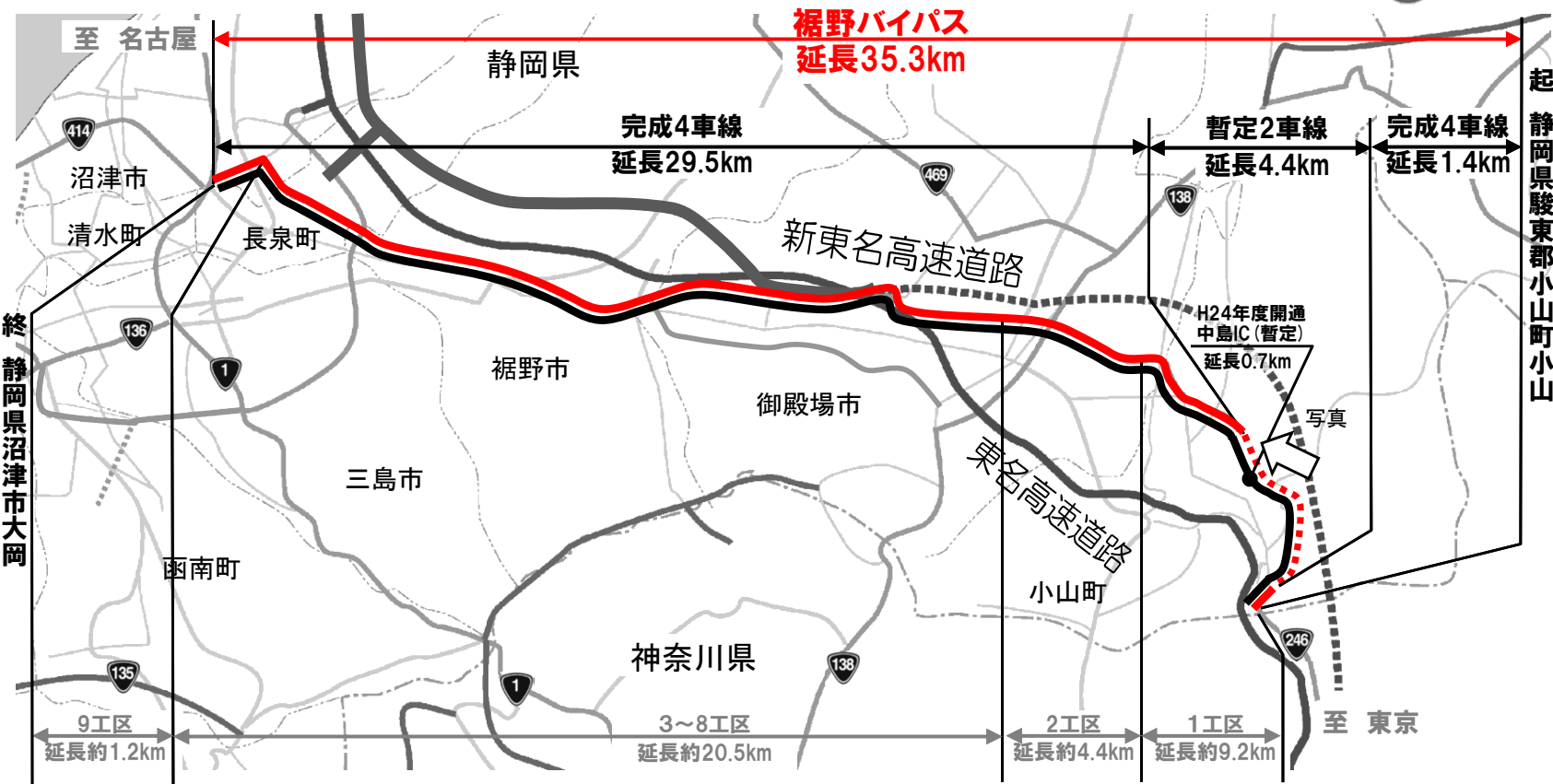
一般国道246号は、東京都千代田区を起点とし、静岡県沼津市に至る東西交通を担う主要幹線道路です。
 本事業の裾野バイパスは、駿東郡小山町小山から沼津市大岡に至る延長35.3kmの国道246号のバイパスであり、下記の4点を主な目的として事業を推進(暫定2車線から完成4車線整備)しています。

①交通渋滞の緩和 ②交通事故の削減 ③災害に強い道路機能の確保 ④地域経済活性化の支援

裾野バイパスの全体位置図



写真 国道246号 2車線区間(H26.6)



凡例

.....	完成4車線整備中區間
———	完成4車線整備済區間
———	暫定2車線整備済區間

図1 裾野バイパス位置図

(2) 計画概要

- 事業名 : 一般国道246号^{すその}裾野バイパス
- 起終点 : (起点) 静岡県駿東郡小山町小山^{しずおか すんとう おやまちょうおやま}
(終点) 静岡県沼津市大岡^{しずおか ぬまづ おおおか}
- 延長 : 35.3km
- 道路規格 : 3種2級 約9.2km 小山町小山～御殿場市古沢(1工区)
3種1級 約24.9km 御殿場市古沢～沼津市岡一色(2～8工区)
4種1級 約1.2km 沼津市岡一色～沼津市大岡(9工区)
- 設計速度 : 60km/h(1工区・9工区)
80km/h(2～8工区)
- 車線数 : 4車線
- 都市計画決定: 昭和46～61年度
- 事業化: 昭和41年度
- 用地着手年度: 昭和41年度
- 工事着手年度: 昭和41年度(2車線)
昭和53年度(4車線)
- 前回の再評価: 平成23年度
(指摘事項なし: 継続)
- 全体事業費 : 520億円
(2車線から事業完了までに要する事業費)
- B/C : 1.3(H23再評価時)

標準断面図

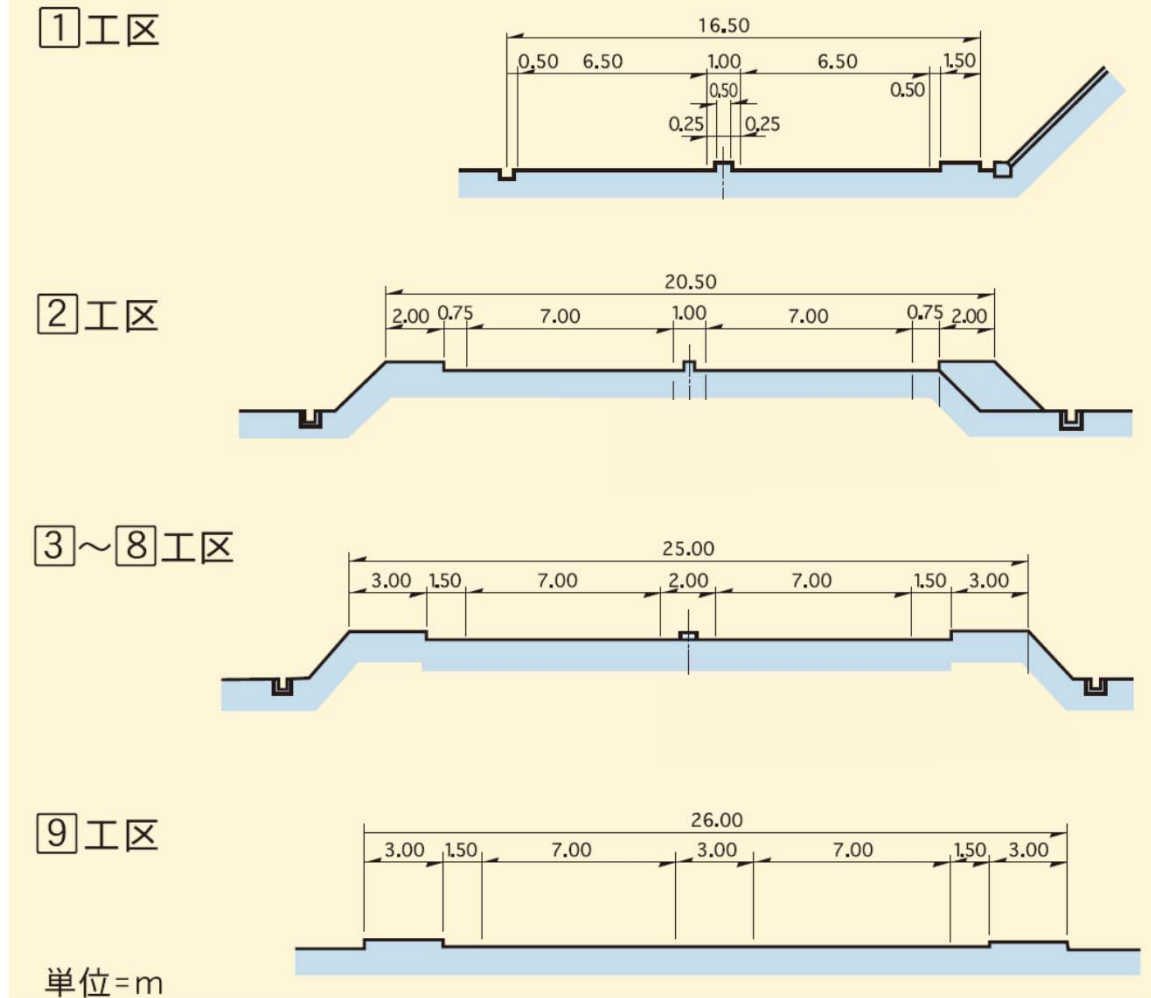


図2 裾野バイパス標準断面図

2. 評価の視点(概要) 【事業の必要性等に関する視点】

①交通渋滞の緩和

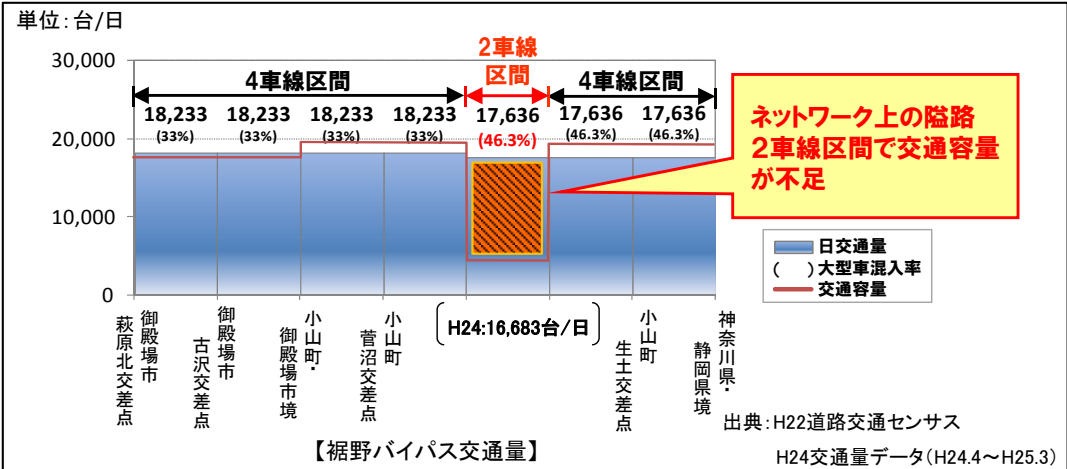
1)事業を巡る社会情勢等の変化

●2車線区間は沼津(静岡)と関東を結ぶネットワーク上の隘路となっており、交通容量が不足し混雑が発生。

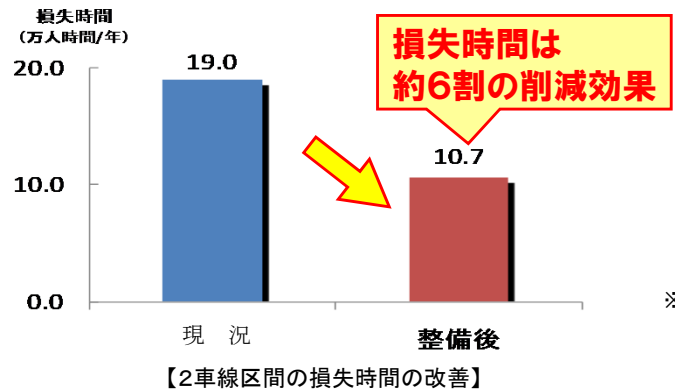
2)事業の投資効果

○裾野バイパス4車線整備により、円滑な交通流動が確保され、渋滞損失時間の約6割削減が期待。

1)事業を巡る社会情勢等の変化



2)事業の投資効果



※現況: H22民間プローブデータ
供用後: 交通量推計を基に整備ありなしの渋滞損失時間変化率より算出。

②交通事故の削減

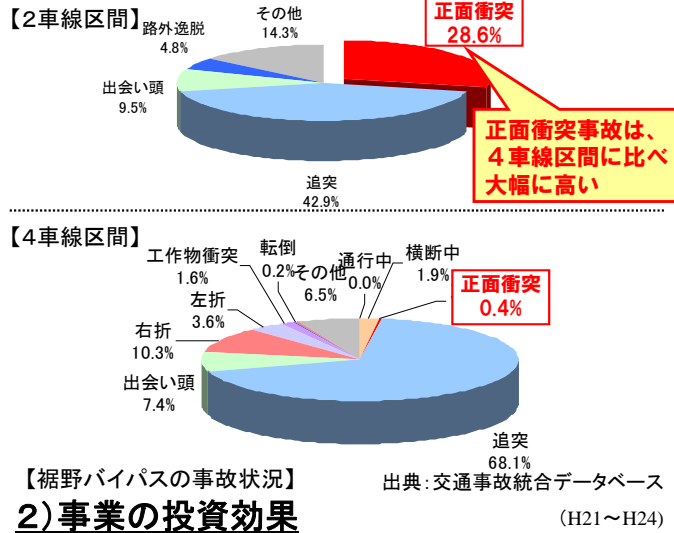
1)事業を巡る社会情勢等の変化

●2車線区間の大型車混入率は約5割(H23評価時:約5割)と高く、重大事故の危険が高い正面衝突事故の発生割合が高い。

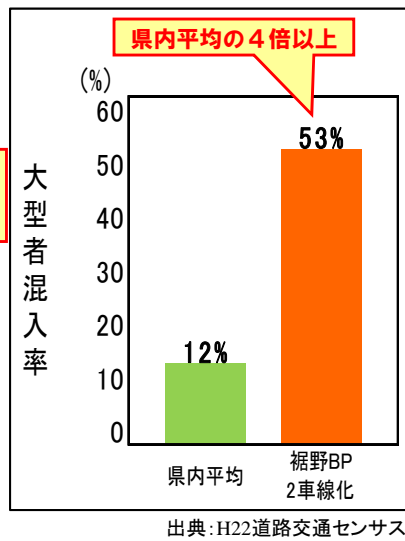
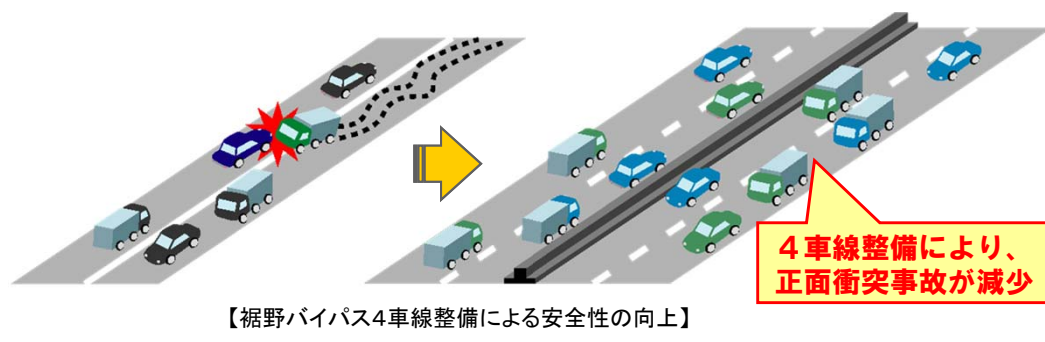
2)事業の投資効果

○裾野バイパス4車線整備により、重大事故の危険性が高い正面衝突事故の発生件数の減少が期待。

1)事業を巡る社会情勢等の変化



2)事業の投資効果



2. 評価の視点(概要) 【事業の必要性等に関する視点】

③災害に強い道路機能の確保

1)事業を巡る社会情勢等の変化

●国道246号現道には唯一の雨量規制区間が存在。
 平成22年には台風による大雨で、約180時間におよぶ通行止めが発生し、周辺道路へ影響。(平成23年:約90時間におよぶ通行止)

2)事業の投資効果

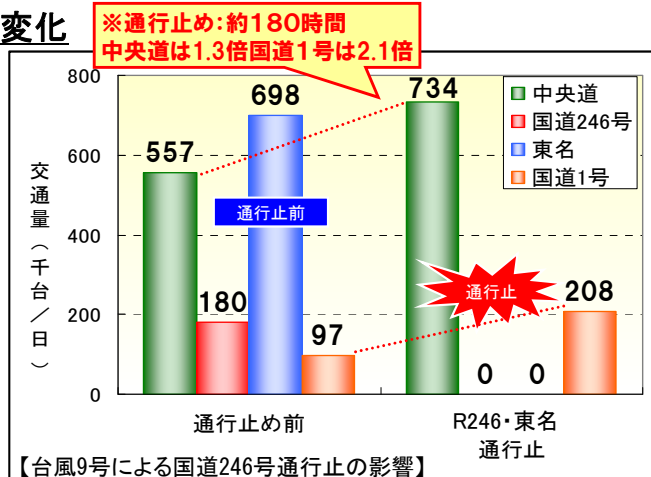
○裾野バイパス4車線整備と災害対策により、雨量規制区間を解消し、信頼性・安全性が向上。

1)事業を巡る社会情勢等の変化

【平成22年台風9号による通行規制】
 期間:H22.9.8~H22.9.16
 場所:駿東郡小山町生土~小山町棚頭



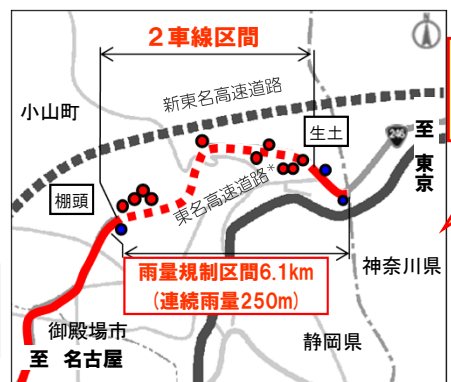
トンネル坑口を閉塞する土砂



【台風9号による国道246号通行止の影響】
 出典:国土交通省、NEXCO資料

2)事業の投資効果

【裾野バイパス整備による第一次緊急輸送道路の機能強化】



雨量規制区間の解消により、信頼性・安全性が向上

- 防災点検箇所**
- 2車線区間防災点検箇所 (10箇所)
 - 4車線区間防災点検箇所 (3箇所)

出典:国土交通省資料

④地域経済活性化の支援

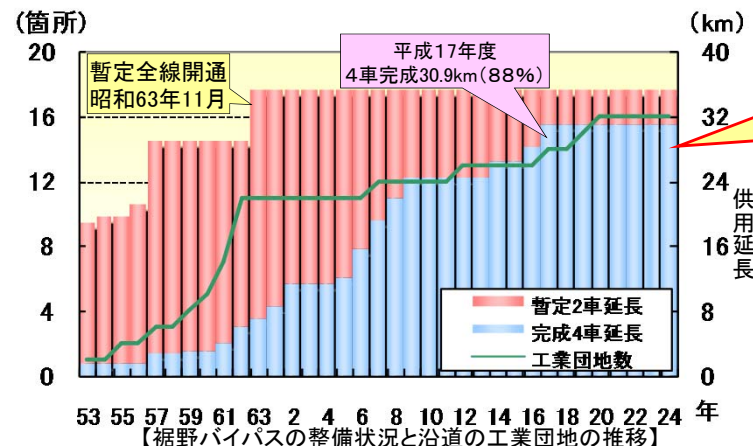
1)事業を巡る社会情勢等の変化

●4車線区間の延伸に伴い裾野市や御殿場市の工業団地において工場の立地や企業の進出が進んでいる状況。

2)事業の投資効果

○裾野バイパスの整備により、物流ネットワークの機能が向上し、地域の産業拠点や物流拠点の連携強化に寄与。

1)事業を巡る社会情勢等の変化



4車線区間の延伸に伴い、工業団地の立地が増加

【裾野バイパスの整備状況と沿道の工業団地の推移】
 出典:静岡県の工業団地一覧

2)事業の投資効果



産業拠点、物流拠点のネットワーク強化と連携強化による地域経済の活性化を支援

- 東部地域計画の範囲
- 主要な港湾
- 既存の産業集積地
- 県の工業支援センター
- 「内陸フロンティア」を拓く取り組み

出典:静岡県策定の「東部地域計画」

【静岡県東部地域の産業の連携強化】

3. 現在の状況及び今後の予定

1) 事業の進捗状況

- 事業進捗率は76%、用地取得率は99%に至っています。(平成25年度末)
(参考) 前回評価時：事業進捗率は76%、用地進捗率は99%(平成22年度末)
- 全線35.3kmのうち、30.9kmが完成4車線供用しています。

2) 事業の進捗の見込みの視点

- 駿東郡小山町生土～駿東郡小山町上野(延長4.4km)については、周辺の道路ネットワーク状況等を踏まえ、完成4車線化を進めていきます。

4. 県・政令市への意見聴取結果

■静岡県の意見

本事業は、県東部地域の東西交通を担う国道246号の駿東郡小山町小山から沼津市大岡までの交通ネットワーク上の隘路となっている2車線区間の渋滞の緩和、大型車混入率が高いことに起因する重大事故の削減、雨量規制区間の解消による信頼性・安全性の向上を図るための4車線化事業であり、県東部地域の産業拠点や物流拠点の連携強化に寄与する重要な事業です。

今後も、コスト縮減の徹底とともに、効果が十分に発現されるよう事業の推進をお願いします。
また、各年度の実施に当たっては、引き続き、県と十分な調整をお願いします。

5. 対応方針(原案)

- 一般国道246号裾野バイパスの事業を継続する。